



11/26 元気に育ってね ヤマメの稚魚を放流

菊池川漁業協同組合（富田正剛組合長）が、市内の菊池川や迫間川など4河川でヤマメの稚魚を放流しました。この放流は、同組合が九州産廃(株)との協力により、水環境の保全と魚種の保護などを目的として行っているものです。

今回は菊池北小学校の4年生53人が参加。児童たちは「元気に育ちますように」との願いを込めながら、ヤマメの稚魚約400kg（約1万尾）を放流しました。



ヤマメの稚魚を放流する子どもたち

11/25 すがよしとも 管義友さんが 旭日双光章を受章

秋の叙勲で、管義友さん（東迫間）が旭日双光章を受章しました。管さんは長年、大工として専門工事業振興に貢献し、熊本県建築組合連合会の副会長を歴任。現在も幼稚園や小中学校施設の補修などをボランティアで行うなど地域に根ざした活動を行っています。

管さんは「大工を続けてきて良かった。今後はさらに若手育成やボランティア活動などに貢献したい」と抱負を述べました。



受章した管さん

11/23 菊池の空手少年が大健闘! 県硬式空手道選手権大会

熊本県硬式空手道選手権大会後期の2大会が県内で開催され、本市から出場した菊池支部・日本真空拳洒水塾の選手3人が入賞しました。全九州空手道選手権サンガ大会では、男子組み手で今村歩夢くん（洒水小6年）が準優勝。県硬連大会心拳杯では、男子組み手で太田雅人くん（菊之池小6年）が優勝。また、2年生の部で城山慶多くん（洒水小）が3位に入賞しました。選手たちは「さらに練習を積み重ね、次の大会を目指して頑張ります」と話しました。



大健闘した菊池支部・日本真空拳洒水塾

11/22 なかむらゆきひろ 中村幸弘さんが 緑白綬有功章を受章

公益社団法人大日本農会が主催する平成25年度農事功績者表彰が東京で開催され、中村幸弘さん（妻越）が当会の総裁である桂宮宣仁親王殿下の御裁可により緑白綬有功章を受章しました。この賞は、農事改良の奨励で功績が顕著な人に授与されるもので、県内の受賞者は中村さんのみ。中村さんは就農して38年、現在繁殖牛150頭、肥育牛80頭を飼育し、先進技術の開発・導入、ゆとりある畜産経営の確立や後継者の確保に貢献しています。



受章した中村さんと妻の加代子さん

12/1 家庭料理が大集合! 第9回水源食の文化祭

水源ふるさと交流館で水源食の文化祭が開催され、多くの来場者でにぎわいました。このイベントは、地域に残る食を見つめなおし、みんなで食べながら交流を深めようと毎年開催されています。会場には郷土料理や創作料理がずらりと並び、水源ブランド開発事業として取り組んでいるエゴマドレッシングを使ったサラダなども振る舞われました。また、歌や楽器の生演奏も披露され、来場者は音楽を楽しみながら家庭料理に舌鼓を打ちました。



1. エゴマドレッシングのサラダも大人気 2. 並んだ料理は見るだけでも楽しめます 3. 二人組ユニット COBY さんの弾き語り

11/29 赤星天満宮祭 赤星天満宮神楽が奉納

下赤星区の菅原神社で赤星天満宮祭があり、赤星天満宮神楽（市指定無形民俗文化財）が奉納されました。

この地域では、子どもたちに伝統芸能を体験させて受け継いでもらうことなどを目的に、以前から子ども神楽に取り組んでおり、今回も大人の神楽に先立って子ども神楽が披露されました。会場では地域の皆さん手作りの団子汁やおにぎりなどが振る舞われ、多くの来場者でにぎわっていました。



厳かに舞われた歌神楽

11/24 第51回熊本県子ども会大会

県内の子ども会員や指導者・育成者を対象に、第51回熊本県子ども会大会が洒水体育館などで開催されました。オープニングでは、永翔太鼓と旭志小学校のコーラスがあり、その後、子どもたちに大人気の「くまモン」や「キティちゃん」の和菓子作りや芋掘り体験を実施。サプライズで鞠智城マスコット「ころうくん」が登場すると、子どもたちは大喜び。県内各地の会員との交流もでき、子どもたちにとって思い出に残る大会になりました。



ころうくんと触れ合う子どもたち

11/23 隈府小剣道部が優勝 菊池公追悼剣道大会

第58回菊池公追悼剣道大会が姉妹都市の宮崎県西米良村で開催され、本市から隈府小剣道部A・Bチームが出場し、優勝と準優勝を飾りました。隈府小は10年以上同村の村所小と交流を続けており、今回招待を受け初めて大会に出場。近隣市町村から集まった24チームがしのぎを削りました。主将の境浩輝くん（6年）は「西米良村のチームと対戦できなかったことが残念。来年は2連覇目指して頑張りたい」と後輩にエールを送りました。



優勝した隈府小剣道部



12/8 優雅な調べ 一歩の家コンサート

菊池市西寺にある「一歩の家」で市内在住アーティストによるコラボレーションコンサートが開催され多くの人が訪れました。これは菊池市を中心に活動しているアンサンブルユニット「Dear」が企画をして実現。今回は、ソプラノ歌手の宮本恵理さん、クラリネット奏者の原田晃一さん、コントラバス奏者の猿渡加奈子さんも参加しました。オペラ、クラシックのほか、ポップスやクリスマスソングなどを披露。多くの観客を魅了しました。



1. Dearの島田有純さん(フルート)と加藤絵里さん(ピアノ) 2. 力強くも優しい歌声を披露する宮本さん 3. コラボ演奏

12/14 上手にできたよ 菊池北小で炭づくり体験

菊池北小(宇野達也校長)4～6年生の児童が所属する「緑の少年団」のメンバー13人が、同校の炭焼き場で「炭焼き」を体験しました。昔から地域に伝わる伝統技術を学習することを目的に、平成14年から行っています。児童たちは保護者や指導者から作り方を習いながら炭焼きを体験。マツボックリやドングリ、カライモ、ナスなどの「花炭」作りにも挑戦し、真っ黒になったマツボックリやドングリを手に取り興味深そうに眺めていました。



1, 2. できあがった花炭に興味深そうに見る児童たち 3. 炭焼き窯に木を運ぶ児童たち

12/4 人権の心育む 人権の花集会

菊之池小学校(松岡秀明校長)の全校児童174人が、育てた花の種をメッセージとともに紙風船に託し青空に飛ばしました。これは、法務局が推進する「人権の花運動」の一環で、小学生が花を育てることにより人権尊重への理解を深め、豊かな人権感覚を身につけていくことを目的に実施されています。

集会では、児童が花を育てる苦労をとおして友達に優しくなったことなどの発表や、山鹿人権擁護委員による啓発劇がありました。



色とりどりの風船が児童の思いとともに大空へ飛んでいきました

12/4～10 人権相談いつでもどうぞ 人権週間街頭啓発活動

山鹿人権擁護委員協議会菊池部会の委員5人が、12月4日から10日までの人権週間に併せた取り組みとして、市内のスーパーで買い物客に人権啓発グッズを配付しました。この活動は、人権週間を機に人権尊重思想の普及高揚を図ろうと全国で行われているものです。

委員の皆さんは「人権擁護委員協議会です。困ったことがあったら何でも相談してください」と買い物客に呼びかけました。



買い物客に笑顔で声掛けする人権擁護委員の皆さん

12/4 菊池の魅力を発信! 映画祭コンペ CM 撮影

市内でCM撮影があり、県在住のお笑いコンビ「もっこすファイヤー」が菊池のおいしい食材をPRしました。これは3月に開催される沖縄国際映画祭の企画で、47都道府県の魅力をCMで伝えるコンペに県から出品されます。

もっこすファイヤーの2人と一緒においしい食材を探す設定で、撮影には「ころうくん」も参加。集まった作品はインターネットで一般視聴者の投票を受け、上位10作品が映画祭で審査されます。



菊池市民広場でのCM撮影。もっこすファイヤーの2人がユニークな衣装を身にまとい地元農産物の鍋をつきました

12/4 みんなで新聞づくります 旭志小でNIE授業

旭志小学校(吉田栄二校長)で新聞で学習するNIE出前講座があり、4年生42人が新聞づくりのノウハウを学びました。熊日NIE・新聞活用センターの嶽下武士委員が講義。小中学生新聞「くまTOMO」を読んだ感想を児童に挙げてもらい、見出しや写真の効果的な使い方などを説明しました。初めて新聞を読んだ田中夏美さんは、「新聞は難しいと思っていたけど読んでみたら面白かった。自分たちで新聞をつくるのが楽しみ」と話しました。



読んだ新聞記事の感想を発表する児童。講師の嶽下委員

12/1 前川薫さんが 県民会議表彰を受賞

菊池市青少年育成推進員会会長の前川薫さん(戸城)が、熊本県青少年育成県民会議表彰を受賞しました。この表彰は、青少年の健全育成に関し10年以上優れた活動を行っている青少年育成者に贈られるものです。

前川さんは、平成15年から青少年育成推進員として、広報誌「輝けきくち」の発行や「菊池ふるさとかるた」の作成・普及など青少年健全育成活動に貢献してきました。



受賞した前川さん

12月 平成25年度 人権標語入賞作品

隈府校区人権啓発推進会議主催による人権標語の発表がありました。入賞作品と表彰者は次のとおりです(敬称略)。

最優秀 いないかな? 一人で遊ぶ お友達
江川ゆり子
優秀 どうしたの その一言が あたたかい
後藤千遥
「それはだめ」言える自分に 変わるうよ
渡邊きさら

入選
「ありがとう」みんな心が ぽっかぽか
城実希
思いやり みんなでもとう わいふっ子
坂本彩名
やさしさと 感謝の気持ちは 倍返し
石坂由美
会った人 一人一人に あいさつを
中村美優
友の手は ころろほっこり あったかい
林幸叶



12/18 笑顔と一緒にありがとう 高齢者へ花を配布

旭志中学校の生徒が、自治公民館活動推進員と共に 70 歳以上で一人暮らしの高齢者 80 人に花を届けました。花は、生徒たちが昨年 8 月から丹精込めて育てたビオラ。花を受け取った高齢者は「子どもたちが笑顔で届けてくれるのでとてもうれしい。春には可愛い花が咲くのを今からとても楽しみにしています」。生徒は「笑顔で“ありがとう”と言ってもらえるのはうれしい。皆さんには元気に過ごして欲しい」と笑顔を見せました。



一人暮らしの高齢者に花を手渡す旭志中生徒

12/17 黒田章さんが 組織活動功労表彰受賞

九州ブロック身体障がい者相談員研修会が長崎県で開催され、菊池市身体障がい者相談員の黒田章さん（菊池市身体障がい者福祉協議会会長）が組織活動功労表彰を受賞しました。

黒田さんは、平成 20 年に身体障がい者のための相談日を開設し、相談業務を充実したことや、市協議会の活性化のための会員証の発行、協力店の獲得などに尽力したことが評価され、今回の受賞となりました。



江頭実市長(左)に受賞を報告した黒田さん(右)

12/14 よいしょ!よいしょ! チャリティー餅つき大会

養生市場出荷者協議会（佐々木秀二会長）のチャリティー餅つき大会が泗水道の駅養生市場で開催されました。今回使用した餅米は、農業体験の一環で田植えから稲刈りを自分たちで行い収穫した米を使用。昔ながらの杵と臼を使い「よいしょ、よいしょ」の掛け声が飛び交う中、子どもから大人まで楽しく餅をつきました。できあがった 30kg の餅米は午前中に完売するほどの人気振りで、売上の一部を社会福祉協議会に寄付しました。



元気に餅をつく子どもたち

12/14 第6回 菊池ふるさとかるた大会

菊池ふるさとかるた大会が、菊池市総合体育館メインアリーナで開催されました。市内小学校 10 校から 38 チーム 114 人の選手が出場。低学年と高学年に分かれて熱戦が繰り広げられました。上位の結果は次のとおりです。

高学年の部 優勝：泗水小 A 準優勝：泗水東小 A
第 3 位：隈府小 A

低学年の部 優勝：泗水小 A 準優勝：花房小 A
第 3 位：戸崎小 B



素早い動きでかるたを取り合う児童たち

12/24 菊池に サンタがやってきた!

クリスマスイブの日、菊池第 2 幼稚園（富田知恵子園長）にサンタクロースが訪れ、園児にプレゼントを配りました。

サンタに扮したのは堤照さん 81 歳（栄町）。園児に喜んでもらおうと毎年市内の保育園などで続けており今回で 15 回目。堤さんは園児一人一人にまんじゅうを配りながら握手をし、「ちゃんとごあいさつしていますか」とたずねると、園児たちは「はい!」と元気に返事をしていました。



園児たちにプレゼントを配るサンタの堤さん

12/21 岩手県遠野市交流団が 神楽を披露

友好都市の岩手県遠野市から市民交流団 19 人が 20・21 日の日程で本市を訪問しました。

姉妹友好都市と交流している民間団体の菊池都市間交流の会（佐藤紘一会長）主催の交流会が 21 日に隈府の旅館であり、伝統芸能である本市の赤星天満宮神楽と遠野市の平倉神楽が披露されました。赤星神楽は狩衣に烏帽子姿で厳かに舞い、平倉神楽は派手な衣装と能面を身に着け激しく舞い、訪れた約 60 人の観客を魅了しました。



1. 平倉神楽の激しい舞 2. 2 畳分の広さで厳かに舞う赤星神楽
3. 平倉神楽の獅子舞で参加者の無病息災を祈念しました

12/17 隈府小児童と宮崎県の村 所小児童がテレビで交流

隈府小 6 年生 35 人が、テレビ会議システムによる遠隔交流授業で、本市の姉妹都市である宮崎県西米良村の村所小 6 年生 7 人と交流学习を行いました。九州管内で情報化推進を支援している企業が企画したもので、児童たちはモニターの映像を見ながら学校生活や部活動の紹介、地域や特産品などをお互いに発表しました。隈府小 6 年の荒尾怜音くんは「西米良のことをたくさん知ることができて良かった。機会があれば行ってみたい」と話しました。



モニターを通じて交流する児童たち

12/15 第2回菊池“ゆ”ったり スポーツクラブフェスタ

菊池“ゆ”ったりスポーツクラブフェスタが泗水体育館で開催され、2 歳～ 80 歳の 130 人が参加しました。スポーツクラブで開講している教室の実技発表があり、ソフトエアロビクスなど日頃の練習の成果を発揮。新体操と体育教室では幼児の可愛い姿が披露され、参加者から大きな拍手が送られました。参加者の皆さんは、ニュースポーツの体験や輪投げのチャレンジで豪華賞品をゲットするなどさまざまなスポーツを楽しみました。



幼児たちの新体操